

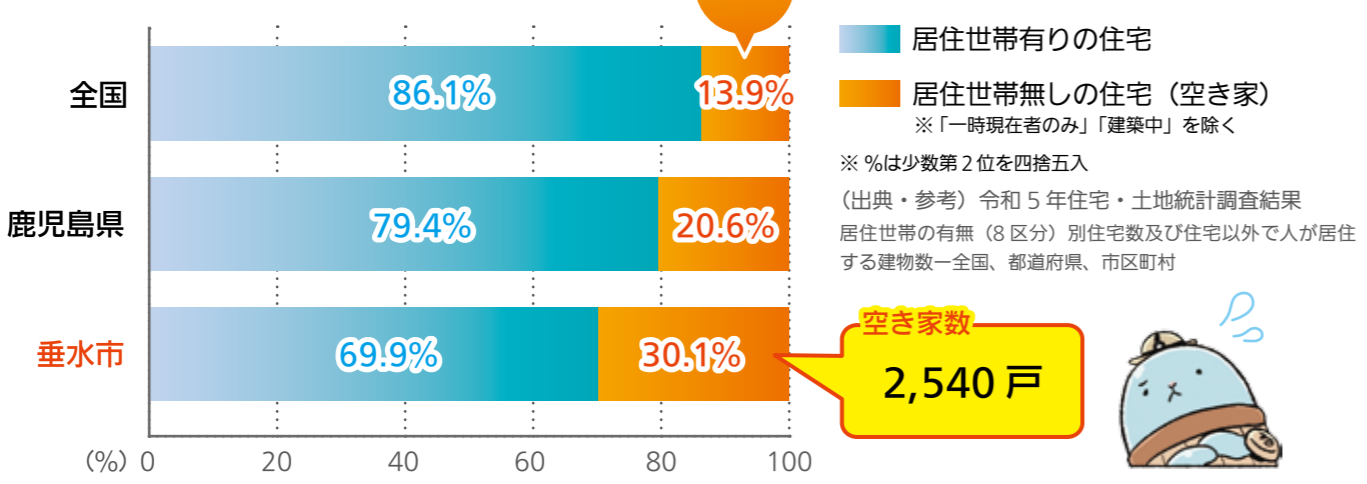
01

Current situation

本市が今直面している空き家問題の現状

今、国内では空き家が増え続けています。本市においても少子高齢化や人口減少に伴い空き家が年々増加しており、適切な管理が行われていない住宅等が目立ってきています。空き家を放置すると、防災・防犯・衛生・景観など地域住民の生活環境にさまざまな悪影響が生じるおそれがあり、大きなトラブルにつながりかねません。

◎令和5年／居住世帯有無の住宅数割合



02

Vision

空き家・人口減少の課題の解決に向けて

本市ではこれまでの「総合計画」と「総合戦略」を統合し、令和7年度に新たなまちづくりの指針「第6次垂水市総合計画兼第3期垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。将来像として「豊かな食と自然を未来へつなぎ、みんなでつくる、笑顔あふれる垂水市」を掲げ、空き家の活用や住宅リフォーム補助を通じた移住促進や子育て支援など、住みやすい環境づくりに取り組んでいます。【事業の詳細は14ページへ】
 また、今年度は地域おこし協力隊の制度を活用し、相談窓口の一本化による利便性向上と相談しやすい環境構築をおこなってまいります。



03

Inauguration

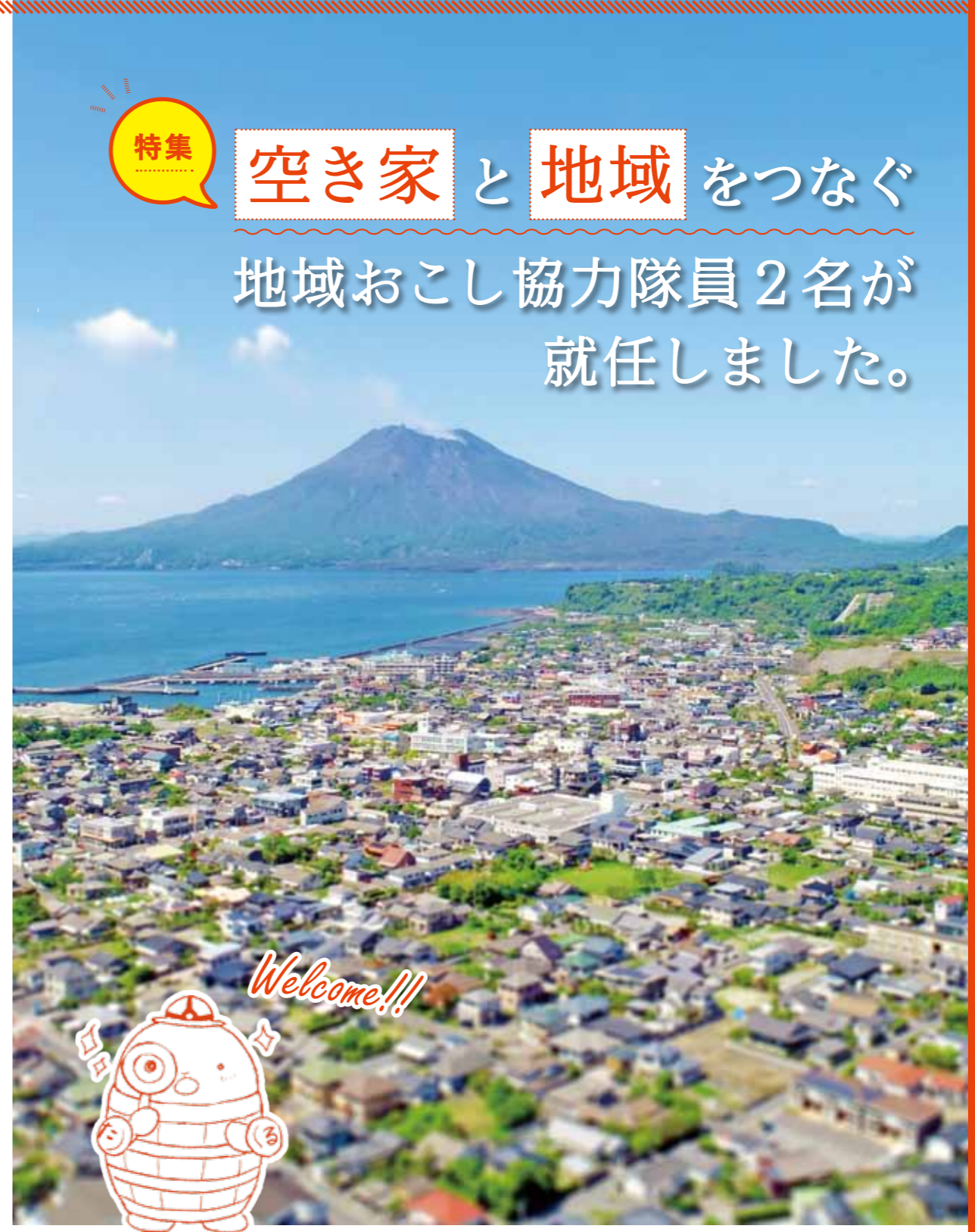
「空き家対策・移住促進コーディネーター」が2人就任



垂水市地域おこし協力隊「空き家対策・移住促進コーディネーター」の委嘱状交付式が、4月1日に垂水市役所で執り行われました。
 同コーディネーターは、空き家対策・利活用を推進する地域おこし協力隊として、空き家の掘り起こしおよび移住希望者とのマッチング支援等を担う目的に設置されたものです。この度、瀬戸口恵美子さん、シン ジョングンさんが就任しました。お二人については、次のページで詳しくご紹介いたします。

特集

空き家と地域をつなぐ 地域おこし協力隊員2名が 就任しました。



地域をつなぐ協力隊
 本市では、令和6年度から「地域おこし協力隊」を採用しています。この取組は、人口減少や高齢化が進む地域で、自治体が地域外の人材を受け入れ、活動期間中に地域協力を行ってもらいながら、地域への定住・定着と地域の活性化を目指すものです。
 これまで、本市では2人の地域おこし協力隊員が「多文化共生まちづくりコーディネーター」として活躍し、市内に在住する外国人と地域住民の橋渡し役として、共生社会の実現を目指したさまざまな活動を行ってきました。
 そして今年4月、新たに「空き家対策・移住促進コーディネーター」として2人の隊員が活動を開始しました。
 今特集では、2人のご紹介とともに、本市が進めている空き家対策・移住・定住促進事業についてご案内します。

垂水市に愛を込めて

地域おこし協力隊レポ

Vol.24 special版

【お問い合わせ先】
 企画政策課
 地域振興係
 ☎0994-32-1111
 (内線246)